

## 1. 事業概要

- 発電施設：太陽光発電 2 か所（北上第 1・第 2 ソーラー発電所）
- 最大出力：合計 2,888kW
- 事業開始時期：平成 26 年（2014 年）3 月
- 年間発電電力量：合計 3,444,652kWh（平成 30 年度実績）
- 年間電力料収入：合計 143,993 千円（過去 3 か年平均）

## 2. 策定の趣旨

独立採算制を原則とする公営企業において、公共の福祉の増進のため将来にわたり安定的なサービスを提供していくことを目指し、中長期的な視野のもとに「経営戦略」を策定することで計画的な経営を行おうとするものです。

## 3. 計画期間

令和元年度（2019）から令和 16 年度（2034）まで

※本事業は固定価格買取期間の 20 年間で売電をするものであり、期間満了の翌年度である令和 16 年度に設備の撤去を行うものとし、当該年度までの計画期間とします。

## 4. 経営の基本方針

「北上市あじさい型スマートコミュニティ構想モデル事業」の構成事業として太陽光発電事業を実施し、公共施設の再生可能エネルギー比率を高め、エネルギーの地域内循環を促進します。

固定価格買取制度の活用により 20 年間の収益を確保して「北上市再生可能エネルギー活用基金」に積み立て、スマートコミュニティ構想モデル事業の設備構築費、維持管理費、撤去費等に充てるほか、市の環境・エネルギー事業に再投資します。

### 北上市あじさい型スマートコミュニティ構想モデル事業とは

災害に強く自立した持続可能な都市を実現するため、再生可能エネルギー導入とエネルギー利用の最適化を図る取り組みで、経済産業省の補助事業等を活用して平成 24 年度から整備を進めてきた事業です。

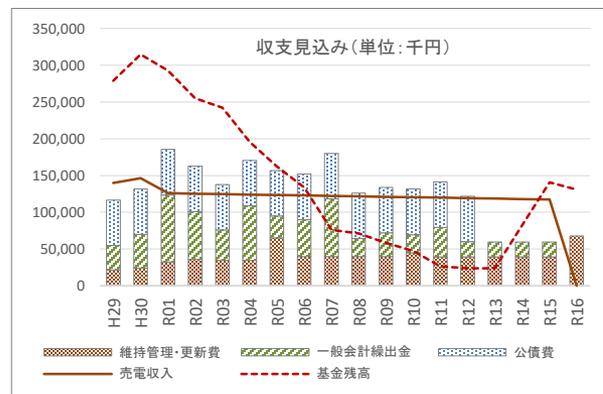
メガソーラー発電所の整備、防災拠点への太陽光発電・蓄電池整備、電気自動車の配置等によるエネルギーの分散配置、エネルギーマネジメントシステムの構築等による利用の効率化、新電力を活用した公共施設の再生可能エネルギー比率向上（CO2 排出削減）に取り組んでいます。

## 5. 収支計画

発電した電力は、固定価格買取制度により 20 年間にわたり売電し、その収入を発電所整備費の償還や施設管理費に充てるほか、一般会計繰出金としてスマートコミュニティ構想モデル事業の設備構築費や市の環境・エネルギー事業へ支出します。

**計画期間の収支見込み（令和 16 年度基金残高）＝約 1 億 3000 万円**

区分	項目	金額
【収入】①	売電収入	約 18 億 2500 万円
	繰越金	約 3700 万円
【支出】②	地方債償還金（元金＋利息）※	約 7 億 4100 万円
	施設管理費等	約 5 億 8100 万円
	設備更新費・撤去費	約 8900 万円
	一般会計繰出金※	約 6 億 3500 万円
【基金】③	基金現在高	約 3 億 1400 万円
①－②＋③	収支見込（R16 基金残高）	約 1 億 3000 万円



※地方債償還金（公債費）は令和 12 年度まで  
※一般会計繰出金は公共施設の再生可能エネルギー等設備設置費、住宅用再生可能エネルギー設備設置費補助金等

## 6. 事後検証・改定等

発電量のモニタリングを常時実施し、定期的に事後検証を行います。また、設備の状況変化や制度改正などにより経営状況が大きく変動する場合は見直しを行います。